

商品・農産品の利益の関係者間の利益配分分析 と「反哺農業」に関する研究

王広金 白春彦

寧夏大学経済管理学院

キーワード； 商品・農産品 利益の関係者 反哺農業の道
主旨；

今年、商品・農産品の価格をリードする豚肉の価格が狂うように値上がりしたことは人々に広く、深い印象を残した。商品・農産品という市民及び農民に深く関わる必需品の調和社会作りに対する重大性が、このたびの豚肉の値上がりによって、余すところなく表現されている。市民と農民の関係はわが国の社会基盤の基本的な関係であるので、その関係をいかにうまく調整、処理するかが、社会経済発展の基本的戦略の選択に影響を及ぼす。都市と農村との関係を徐々に調整しながら、融合し合うところまで歩み出すにはかなり長い客観的な発展の過程を必要とする。もちろんこの過程は、絶対に自動的には実現できず、必ず政府の“見える手”を頼りにして実現するしかないと思われる。しかし、複雑な利益配分の仕組みに直面して、“見える手”をどのようにコントロールするかによって、調和の中に調和を求めることは研究に値する課題である。本報告は、まずミクロ経済の角度から商品・農産品に関する関係者間の利益配分を分析、整理してみる。それからマクロコントロールの角度から農業に対する反哺の新しい道を探してみる。